

# 福岡県高教組情報 第11号

2023年3月25日発行(通算125号)



高教組HPはこちら

福岡県高等学校教職員組合 清水雅数  
福岡市東区馬出1-9-13 高教組会館2F  
電話 092-631-4631 FAX 092-631-4662  
メール fukko@fhtu.com 組合員 全員配布

## 2023年度福岡高教組本部執行役員選挙結果

福岡県高等学校教職員組合は、2月4日(土)に2023年度執行役員選挙の開票を行いました。立候補しめきり時点で、定数を超える立候補者がなかったことから選挙はすべての役職について信任投票となりました。福岡県高等学校教職員組合選挙管理委員会吉田博基委員長は、すべての立候補者が信任され、当選したことを告示しました。告示書は支部長に配布しています。

役職	氏名(分会)	役職	氏名(分会)
執行委員長(非専従)	清水 雅数(福岡中央)	会計監査委員	田口 陽一(八幡工業)
執行副委員長	西岡 伸夫(博多青松)	会計監査委員	奥野 淳子(福岡高等学園)
執行副委員長(非専従)	猿渡 敦子(築上西)	会計監査委員	松田 倫明(大牟田北)
書記長	秋山 聡(筑後特支)	会計監査委員	有馬 良紀(直方特支)
執行委員(非専従)	田中 宏昌(戸畑工業)	選挙管理委員	森 俊之(築城特支)
執行委員(非専従)	黒岩 純(太宰府特支)	選挙管理委員	山崎 誠(新宮)
執行委員(非専従)	山本 哲男(三池工業)	選挙管理委員	熊本 琢磨(久留米商業)
執行委員(非専従)	大場 康司(川崎特支)	選挙管理委員	島岡 修治(嘉穂総合)
特別執行委員	佐伯 安彦(福岡特支)		

## 3年ぶりに、1泊2日で「学びと交流の旅」を開催しました

今回で5回目の開催となった高教組主催の「学びと交流の旅」。コロナ禍にあって中止や目的地の変更を余儀なくされたここ数年でしたが、やっと1泊2日の日程で計画通りに実施することが出来ました。さまざまな形でこのとりくみにかかわってくださった皆さん、ご参加くださった皆さん本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。一方で、ご都合がつかず残念ながら参加できなかった方も大勢いらっしゃるのではないかと思います。今後も継続していきますので、ぜひ日程を調整していただきますようご案内申し上げます。

参加者からお寄せいただいた感想をいくつかご紹介します。

九州の炭鉱の歴史や発展など、その土地ならではの話を聞くことができた。また、石炭から日本近代の経済を読み解くことができることを初めて知ったので、理解をもっと深めたい。(熊本)

大変勉強になった2日間でした！当事者のお話も聞くことができ、実地を肌で感じ、すべて今後に活かそうです！交流もたくさんできて、ただただ楽しかったです。他県の状況を共有でき、職種の違いによる困りの違いを知ることができ、組合に支えられている人の存在を感じ、本当に充実感溢れる2日間でした。大分高教組(特に青年部)でもきちんと企画して、集って、組合として機能させていかなければならないと改めて思いました。(大分)

直方市の石炭博物館は初めて行きました。館長さんの説明はわかりやすく、筑豊の名前の話にはびっくりしました。井出川泰子さんの、強い思いをもってお話をされる姿に感銘を受けました。(福岡)

二日目、森鷗外旧宅や旧日本軍史跡、平和ミュージアムを訪問して、日本が再び戦争を起こさないために「教育の力」が大切になってくることを改めて考えました。青年部長さん、詳しく調べられていますね。大お婆さんの平和の願いが受け継がれていると感じました。(福岡)

近くの県の出来事なのにも関わらず、知らない事や普段気にせずにごろしている事が多く、改めて、平和や歴史の勉強が大切であると感じました。個人的には、井手川さんの話しが一番印象に残っています。戦争や平和に対する想いは、やはり当事者から生の声で表情まで見ながら聞くのが一番心に響きます。女坑夫の事もっとお話しを聞きたかったです。たくさん聞いてみたいことがありました。(大分)

ウクライナとロシアの戦争。先日、本当はロシアは日本との戦争と考えていたということを知りました。そして若者たちが戦争するくらいやったら植民地になって良いということを知っていること、この戦争によってどんなことが起こるのか想定できるのだろうか。私は怖いです。では今回の研修で再認識したこと、自分にできること、経験者ではなくても、今回の研修で聞いた生の声を生徒たちに伝えていくこと。そのために、もっと自分自身も勉強していきたい。(大分)

今回、筑豊のフィールドワークを企画しました。昨年度の大牟田で炭坑のことを学びましたが、そもそも石炭を知らない人が多いのではないかと思います。直方市石炭記念館に石炭を燃やしてもらいました。筑豊の石炭が日本の近代化を支えたことを理解してもらえたと思います。井手川さんの講演、最後、バタバタして終わり、申し訳なかったと思います。豊州炭坑の坑口跡、皆さんがびっくりしていたので、行ってよかったです。大人数で回る場合、今回のような方法しか取れませんでした。更に詳しく回りたい方がおられれば、案内します。小倉のフィールドワークは知らないことばかりで勉強になりました。参加されたみなさん、お疲れ様でした。(福岡)

次回の「学びと交流の旅」で訪れてみたい場所をアンケート調査したところ…

大分 日出生台

熊本 水俣と菊池恵楓園

鹿児島 国内最後の内戦「西南戦争」の地

沖縄 沖縄戦跡や米軍基地

などの回答をお寄せいただきました。もちろん、他にも候補地はたくさんあるでしょう。皆さんの声を参考にしながら次回の企画に生かしていこうと思います。良いアイデアがありましたら、積極的にお知らせください。

2023年度 開催日程 固まる

2024. 2. 23(日)~24(祝)

2022年度 第5回「学びと交流の旅」の様相



炭坑節に歌われた「煙突」



民家の庭に残る坑口



勝山公園原爆犠牲者慰霊平和祈念碑

## 2023年度の事業・諸会議の予定

まもなく2023年度が始まります。より一層とりくみがすすみますよ  
う新年度の予定をお伝えします。ご予定に入れておいてください。

機関会議	
6月17日(土)	第80回 定期大会
11月18日(土)	中央委員会

教研関係	
6月10日(土)	第1回教研推進会議
10月14日(土)	第2回教研推進会議
10月28~29日	県教研
2月3日(土)	第3回教研推進会議

本部主催学習会	
8月19日(土)	会計年度職員学習会
8月26日(土)	青年教職員のつどい
12月23日(土)	退職問題学習会
2月23~24日	学びと交流の旅
3月24日(日)	フレッシューズセミナー

ブロック総学習会	
5月13日(土)	福岡・筑後
5月20日(土)	北九・筑豊
1月6日(土)	北九州
1月20日(土)	福岡
2月10日(土)	筑後
2月17日(土)	筑豊

支部長会	
4月15日(土)	11月18日(土)
5月27日(土)	12月16日(土)
7月15日(土)	2024年
8月10日(木)	1月13日(土)
9月23日(土)	2月3日(土)
10月21日(土)	3月23日(土)



**できることからみんなでやろう!**

教員採用試験対策講座(予定)	
一次対策	二次対策
5月21日(日)	8月6日(日)
6月11日(日)	8月11日(祝)
6月25日(日)	8月20日(日)
7月2日(日)	

拡大執行委員会・専門委員会(いずれも土曜)	
4月8日	10月14日
4月30日	11月3日
6月3日	12月9日
7月22日	2024年 1月20日
9月16日	3月16日

九協関係(日程確定分のみ)	
8月1~2日	高校シンポジウム(福岡)
8月16~17日	教育運動交流集会(福岡)
	カリキュラム編成講座(福岡)
8月19~20日	実習教職員のつどい(福岡)

上記の3集会、福岡開催です。皆さん結集を

11月25~26日	女性教育運動者研究集会(沖縄)
12月26~27日	人権教育交流集会(鹿児島)
	両性研(鹿児島)
2月11~12日	平和教育研究集会(大分)

九協関係(日程調整中のもの)

組織運動交流集会、母と女性教職員の会、  
青年教育労働者の集い、定通部学習会、  
障教部学習会、養護教員部学習会など

**そのほか支部・分会でのとりくみがあります!**

## 2023年度始めのとりくみのお願い

### 高教組オリエンテーションの開催

4月には新規採用者が不安や希望をもってそれぞれの職場に赴任します。「誰に相談したらいいのだろう?」ときっと思っているはずです。

そんな新規採用者に福岡高教組の存在と役割を知ってもらう目的でオリエンテーションの開催のお願いをしています。

「安心して働くために組合があるんだよ」  
「人権教育や平和などについて深く学べるよ」  
「教員だから入ることができる共済があるよ」

と伝えることで、「相談できる人がそばにいる」ことを、そして「高教組でつながれる」ことをアピールすることができます。

実施の詳細は分会長さんにお尋ね頂き、分会のみなさんととりくみをおねがいします。要請があれば本部執行委員も参加させていただきます。

### 第1回分会会議の開催

すべての分会において4月の初めに第1回分会会議の開催をお願いしています。

その折に、転入組合員や新規に加入する人を紹介するとともに、今年度の分会代表者や係の紹介を行いましょ。

また、未加入の新採者(22年度以前の方も含まれます)や臨時的任用・会計年度任用職員の方にも呼びかけての昼食会やオリエンテーションを積極的に開催していただきたいと考えています。費用については、臨採部から23年度に採用された方は本部より支出いたします。

新年度、校長が新任・転任者の場合は2月に実施した「校長要請」をあらためて実施してください。要請書等のデータは高教組ホームページに掲載していますのでご活用ください。

### 地方公務員の定年の引上げ

2023年度より定年が段階的に65歳まで引き上げられます。2月には、当該の年齢の方を対象に第1回目の情報提供が開始されました。定年を引き上げること、定年前短時間勤務制と高齢者部分休業制度を導入することなどすべての教職員にとって非常に大事な内容です。

正確な情報提供のために県教委は「動画」を作成し、いつでも見られる状態を構築しています。当該年齢の皆さん、動画や管理職との質疑応答で疑問点は解消しましたか。その時の不安な気持ちや迷いは、分会や支部の皆さんと共有されましたか。未加入者からの相談などもあったのではないのでしょうか。

組合員の皆さんの声をもとに、夏に行われる2回目の情報提供・意思確認のあり方について県教委と交渉を継続します。この定年引上げの実施は私たちの働き方やライフプランに大きな影響があります。皆さんと情報を共有し、高教組の総力を結集してより良い運用を求めていきます。分会や支部においては、未加入者や若年層にも参加を呼び掛けて学習会を開催してくださいませんか。形式にとらわれず、当該の方の生の声を聞けるような場になりますように。執行委員もぜひそこに参加させてくださるよう、重ねてお願いします。

## 折々

2022年度の高教組情報第11号です。1年間お読みくださり、ありがとうございます。皆さんのお手元にこれが届くのは、すでに新年度がスタートしているタイミングでしょうか。慌ただしさの中で、前年度を振り返りきちんと総括することもままならない状況で、日々目の前の業務に追われているという「実態」を何とか少しでも変えたい、その一心で執行委員としてとりくんできました。人員不足(教員の欠員)の解消と超勤時間の削減を一刻も早く実現するためには、思い切った「業務削減」しかないとかねがね思っています。県立学校における具体策として、課外授業の外注化(外部からの講師招聘による開講のみ認める)と部活動顧問の希望聴取(顧問をしないという選択肢の設定)と、それに基づく各学校で開設可能な部活動数の上限規制、複数校で合同チームを結成しそこに部活動指導員を手厚く配置すること。

「予算がないのでできない」という前提に立たないで、とにかく「教職員の業務とされていること」を、一旦私たちから切り離すことは有効だと思っているのですがいかがでしょうか。皆さんのご意見やアイデアをお聞かせください。

変えられる 議論の先に 光明が 一人ひとりの 声を集めて 副委員長 西岡伸夫

2022年度の高教組情報はこの号で終了します。次年度も支部長会ごとに発行する予定です。ホームページにも随時更新しています。

